

Panasonic

施工説明書

ドラム式電気洗濯乾燥機
(日本国内・家庭用)

品番 **LXシリーズ**

NA-LX129DL/R NA-LX127DL/R
NA-LX125DL/R NA-LX113DL

(L: ドア左開き、R: ドア右開き)

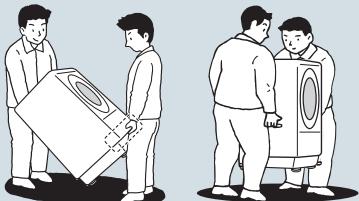
SDシリーズ

NA-SD10UAL NA-SD10HAL
(ドア左開き)

動画で説明



■ 運搬は必ず2人で



製品運搬時は正しい手掛け部を持つ
(パネルの変形防止)

■ ドアの中央を強く押さない (変形防止)



※本書はPDF版のみです。
使用しているイラストはイメージです。

もくじ

必ずお読みください	2
付属品	3
1 輸送用固定ボルトの取り外し	4
2 据え付け場所と周辺寸法	5
3 据え付け前の確認と準備 (別売品)	7
4 排水部の接続	16
5 給水部の接続	23
6 脚の高さ調整	25
7 アース・電源の接続	26
8 点検	27
9 試運転	28

本書内の参照ページ・QRコードをクリック(タッチ)
すると、該当ページが表示されます。

・QRコードは、株式会社デンソーウエーブの登録商標です。

必ずお読みください

据え付けをされる方へ

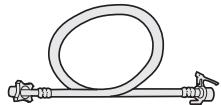
- 製品の機能が十分発揮されるよう、この説明書をよく読み、正しく安全に据え付けしてください。
- NA-LX129D、NA-LX127D、NA-SD10UA は無線機器内蔵です。
「取扱説明書」の「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 据え付け終了後、「点検」「試運転」に基づいて必ず確認を行ってください。
- 外した輸送用固定ボルトは転居などの際に必要です。お客様にお渡しください。
- この説明書どおりに据え付け・試運転をしないと、事故・損害を生じても当社は一切責任を負いません。

お客様へ

- 据え付けは、必ずお買い上げの販売店または施工業者にご依頼ください。
お客様は据え付けしないでください。
 - 万が一の水漏れに備え、防水フロアの設置をおすすめします。
-
- 安全に設置いただくためのお願い [動画で説明](#) 
 - 「[据え付け前の確認と準備\(別売品\)](#)」のメーカー小売価格は2024年7月現在(税込)

付属品

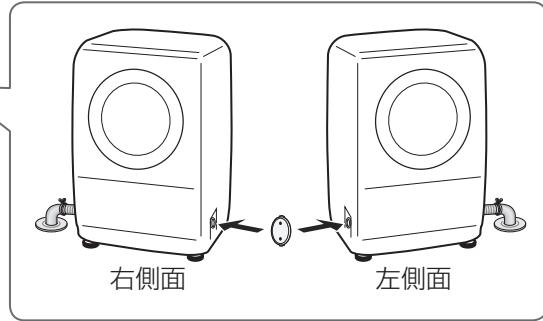
- 給水ホース
(1本:長さ0.8m)



- 外部排水ホース
(1本:伸縮式)



- ホース穴カバー
(1個)



輸送用固定ボルト取り外し・カバー取り付け用

- カバー(2個)



- ネジ(2個)
(M4×8)



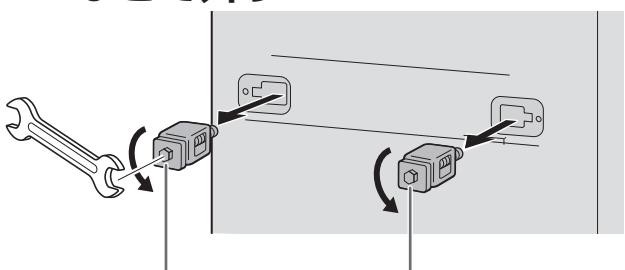
1 輸送用固定ボルトの取り外し

動画で説明



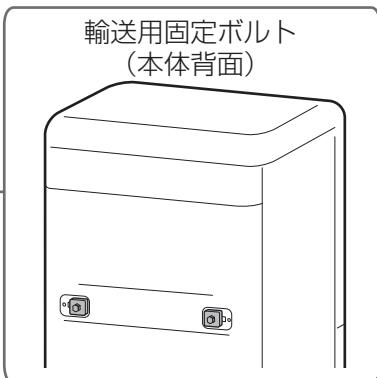
1 本体背面の輸送用固定ボルトを市販の六角スパナ(13 mm)などで外す

異常振動
防止

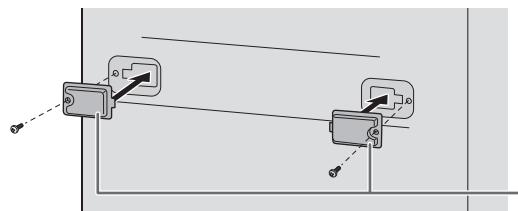


輸送用固定ボルトがついたまま運転すると振動が大きくなったり、商品が動くことがあります。

輸送用固定ボルト
(本体背面)



2 付属のカバーをネジで取り付ける(手や指のけがを防ぐため)



カバーのツメを穴に差し込み、ネジで固定する。
(2か所)



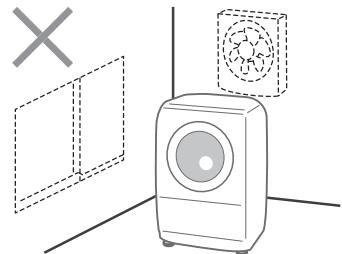
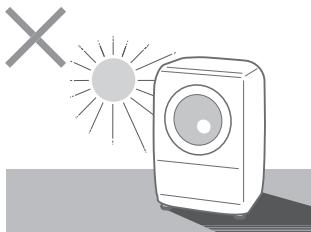
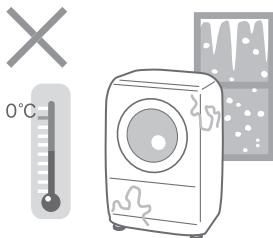
お願い

- 外した輸送用固定ボルトは転居などの際に必要です。お客様にお渡しください。
- 本体を輸送するときは、逆の手順で取り付けてください。また、排水ホースを立てかけた状態で運搬してください。

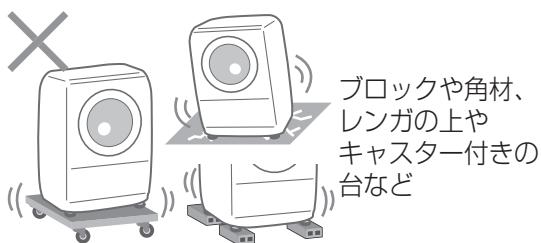
2 据え付け場所と周辺寸法

設置に適さない場所

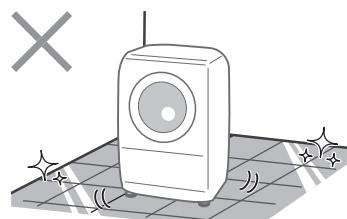
- 凍結のおそれがある場所(凍結すると洗濯も乾燥もできません)
- 直射日光が当たる場所
- 窓や換気扇のない場所



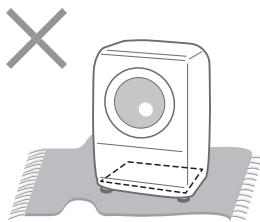
- 不安定で、床面が弱い場所



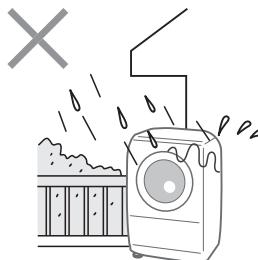
- タイルなどのすべりやすい場所



- カーペットなどで本体下がふさがる場所・糸くずなどが蓄積した場所



- 水のかかる場所、水場や湿気の多い場所(漏電による火災・感電のおそれ)



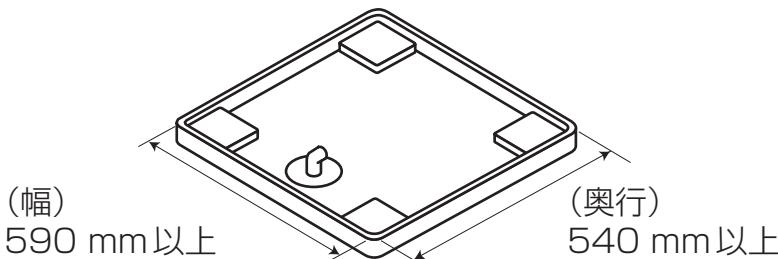
本体の金属部分が、家屋の金属板、流し台のステンレス板などと電気的に接触しないようにしてください。

法令(電気設備の技術基準の解釈)により義務づけられています。

2 据え付け場所と周辺寸法(つづき)

設置の前に

● 防水フロアの内寸



● 収納して据え付けする場合

前面を開放して、壁面から表の寸法以上離してください。

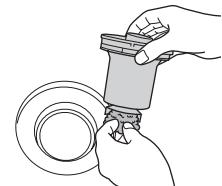
消防法 基準適合 組込形 可燃物からの離隔距離 (cm)			
LXシリーズ			
上方	側方	後方	下方
30 [23] *1	1 *2	1	0
SDシリーズ			
上方	側方	後方	下方
29	1 *2	1	0

*1 [] 内距離はNA-LX113DL
*2 排水管の接続側は9 cm以上

● 据え付け前に排水口を掃除する

排水口にたまつた糸くずや異物は、悪臭や排水の溢れ、排水不良(エラー表示U11:排水できません)の原因になります。

1か月に1度を目安に掃除してください。



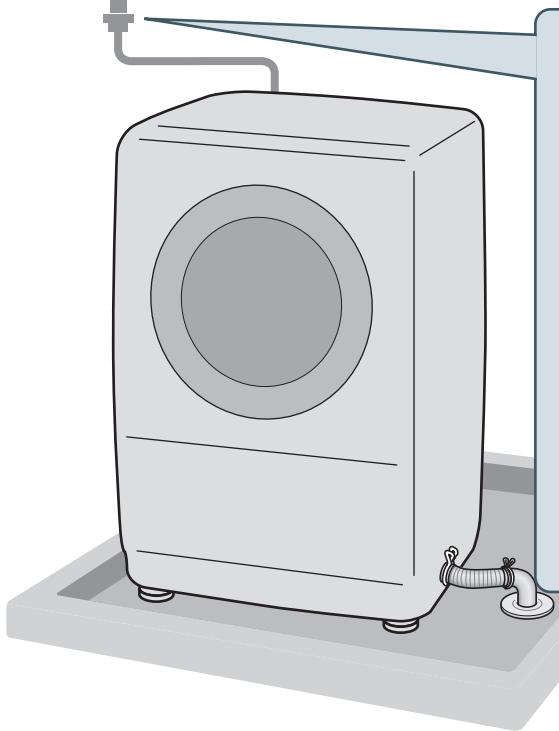
3 据え付け前の確認と準備(別売品)

水栓

動画で説明



- オートストッパー付の水栓がおすすめです。
(給水ホースが抜けると自動的に給水が止まります)



お願い

給水ホースを取り付ける前に

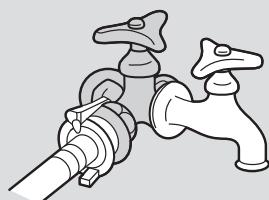
必ず汚れなどを、ぬれた布で拭き取ってください。
汚れが取れなかったり、サビや傷がある場合は、水栓を取り替えてください。



汚れ、カルキ成分、異物、
サビ、傷(水漏れの原因)

- 洗濯以外に給水を利用したい場合

「分岐水栓」(別売)
(オートストッパー付)
CB-A6 3,740円



- 本書で説明している別売品以外を使用すると、水漏れするおそれがあります。(保証の対象外)
- 一般社団法人 日本電機工業会規格JEM1206に準拠している水栓(オートストッパー付、ツバあり)をお使いください。ご不明な場合は、水栓メーカーにお問い合わせください。

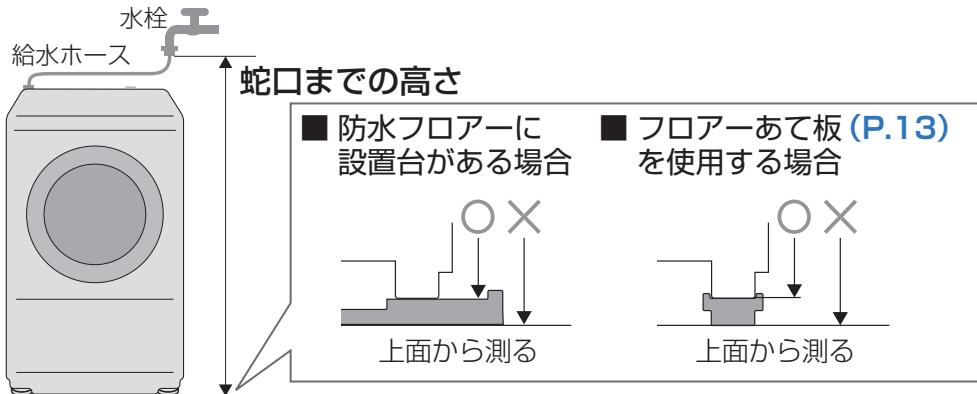
③ 据え付け前の確認と準備(別売品)(つづき)

水栓(位置の確認)

動画で説明



■ 水栓の位置が低く、本体背面に当たる場合



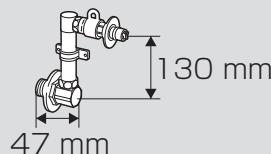
蛇口までの高さ

NA-LX113DL	1300 mm以上	1300 mm未満 1020 mm以上	1020 mm未満
上記以外の [LXシリーズ]	1370 mm以上	1370 mm未満 1020 mm以上	1020 mm未満
SDシリーズ	1300 mm以上	1300 mm未満 960 mm以上	960 mm未満



壁ピタ水栓	不要	蛇口のタイプに より要	要
-------	----	----------------	---

「壁ピタ水栓」(別売)
(オートストッパー付)
CB-L6 8,250円



- 本書で説明している別売品以外を使用すると、水漏れするおそれがあります。(保証の対象外)
- 一般社団法人 日本電機工業会規格JEM1206に準拠している水栓(オートストッパー付、ツバあり)をお使いください。ご不明な場合は、水栓メーカーにお問い合わせください。

③ 据え付け前の確認と準備(別売品)(つづき)

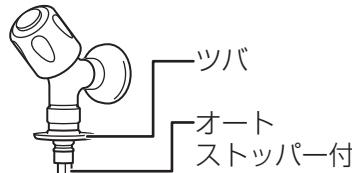
水栓(形状の確認)①

動画で説明

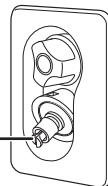


洗濯機専用水栓

壁埋め込み以外

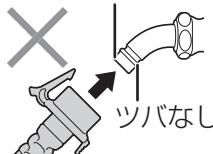


壁埋め込み



そのままホースを接続できます。

オートストッパーなし



先端を外して
〔別売品〕給水栓ジョイントを
接続してください。

お願い

ジョイント部の出代によっては給水ホースのレバーが引掛からない、しっかり差し込めない、ぐらつく等の場合があります。
水栓メーカーにお問い合わせください。

レバー
引掛け部

ジョイント部



レバーが
引掛けからない



- 本書で説明している別売品以外を使用すると、水漏れするおそれがあります。(保証の対象外)
- 一般社団法人 日本電機工業会規格JEM1206に準拠している水栓(オートストッパー付、ツバあり)をお使いください。ご不明な場合は、水栓メーカーにお問い合わせください。

③ 据え付け前の確認と準備(別売品)(つづき)

水栓(形状の確認)②

動画で説明



- 以下の水栓のときは別売品が必要です。

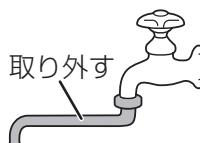
万能ホーム水栓／ワンタッチ式水栓



「給水栓ジョイント」(別売)
(オートストッパー付)
CB-J6 3,080円



自在水栓／カップリング横水栓



「給水栓継手」(別売)
(オートストッパー付)
AXW12H-J6 2,420円
CB-J6 も取り付け可能



横水栓



「給水栓継手」(別売)
(横水栓用)

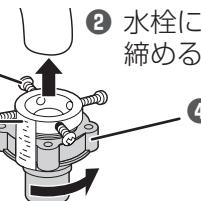
AXW12H-6YF0 1,210円

新品を取り付ける。(古いものは水漏れの原因)



- ① ネジを緩める
(4本)
- ② 水栓につなぎ、ネジを均等に
締める
- ③ テープを
はがす
- ④ A部を右に回して
しっかり締める
(緩いと水漏れの原因)

● 継手をつなぎ直すときは、
手順②の前に
ネジ山が約4 mm
あることを
確認する。



● 水栓の径が18 ~
24 mmのときは、
ネジを緩めて
リングを外す。



- 本書で説明している別売品以外を使用すると、水漏れするおそれがあります。(保証の対象外)
- 一般社団法人 日本電機工業会規格JEM1206に準拠している水栓(オートストッパー付、ツバあり)をお使いください。ご不明な場合は、水栓メーカーにお問い合わせください。

③ 据え付け前の確認と準備(別売品)(つづき)

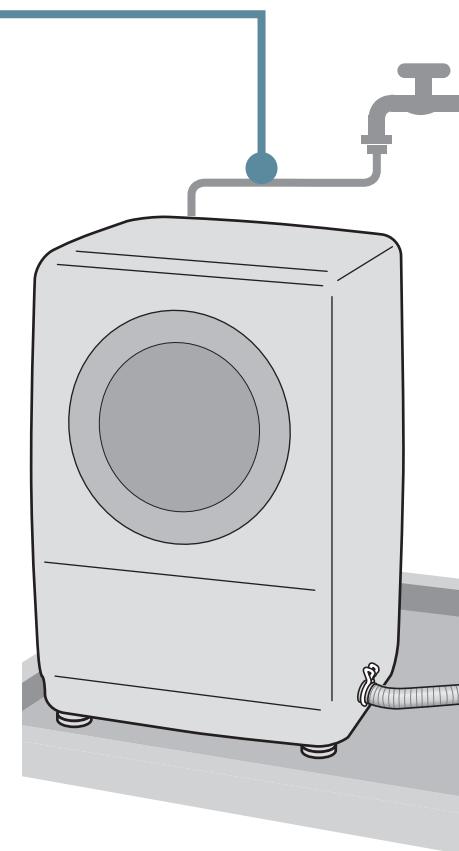
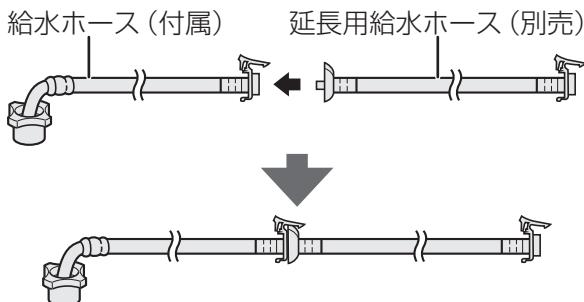
給水ホース

■長さが足りない場合

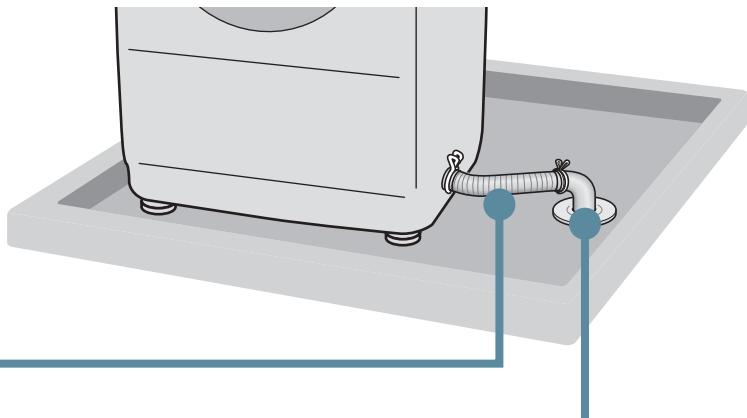
別売品 延長用給水ホースが必要です。

「延長用給水ホース」(別売)

• 0.5 m AXW1251-250	1,540円	• 3 m AXW1251-203	2,640円
• 1 m AXW1251-201	1,980円	• 5 m AXW1251-205	3,960円
• 2 m AXW1251-202	2,420円		



③ 据え付け前の確認と準備(別売品)(つづき)



外部排水ホース

■長さが足りない場合

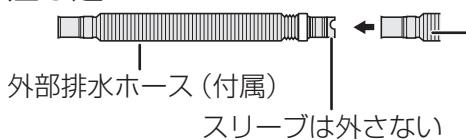
別売品 延長用排水ホースが必要です。

「延長用排水ホース」(別売)

- ・1 m AXW2D-31 1,540円
- ・2 m AXW2D-32 2,420円

● 接続手順

- ① 延長用排水ホース(別売)を差し込む



- ② ホースバンドで固定する



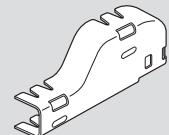
排水トラップ

■排水トラップがない場合

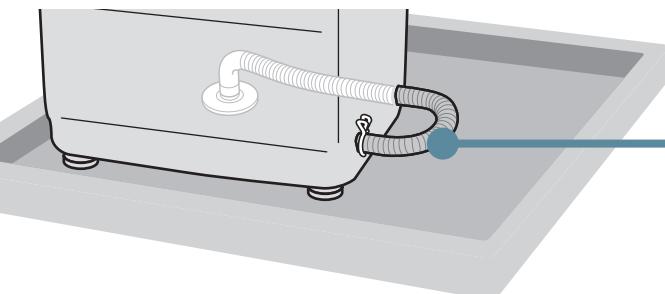
下水の二オイの逆流防止のため、排水ホースを途中で約10cm立ち上げるか、別売品簡易トラップホルダを使用してください。(P.20)

「簡易トラップホルダ」(別売)

- AXW179-8DZ0
990円



③ 据え付け前の確認と準備(別売品)(つづき)



排水口
(本体真下のとき) ①

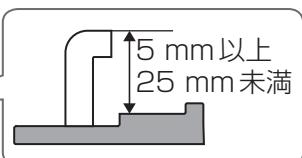
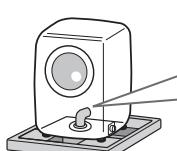
動画で説明



■ 排水パイプが高く本体底に当たる場合

本体のかさ上げのため、**別売品** フロアーあて板が必要です。

- 排水パイプと設置面の差が5 mm未満のとき
「フロアーあて板」は不要です。
- 排水パイプと設置面の差が5 mm以上25 mm未満のとき

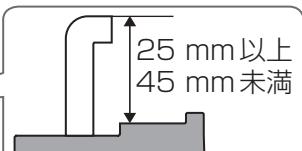
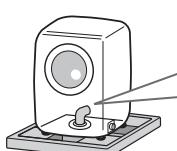


「フロアーあて板」(別売)
1セット(4個)
N-MH3 1,320円



高さ約20 mm

- 排水パイプと設置面の差が25 mm以上45 mm未満のとき



「フロアーあて板」
2セット(8個)

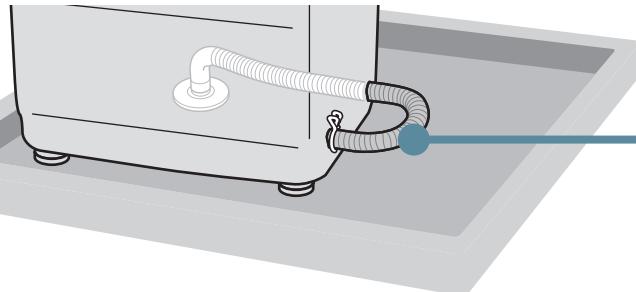


高さ約40 mm

お願い

- 「フロアーあて板」は3セット以上使用しないでください。
(振動の原因)

③ 据え付け前の確認と準備(別売品)(つづき)

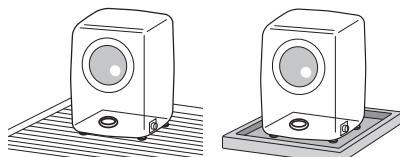


排水口
(本体真下のとき) ②

動画で説明



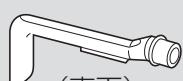
■ 排水パイプがない場合



↓ (P.21)

「真下排水ユニット」(別売)
N-MH2 2,640円

※使用しない場合は、排水不良や
水漏れのおそれ



(真下)
排水パイプ



ホースバンドA



(必要に応じて使用)



フロアーアップ板
(4個)



ホースホルダー

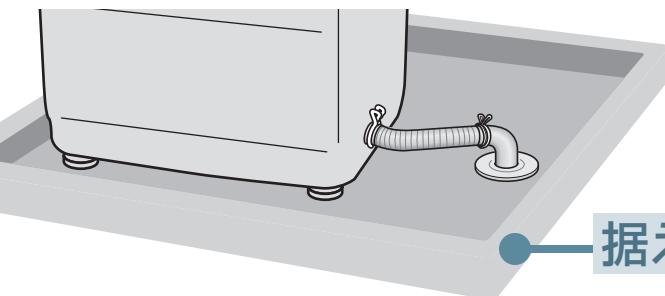
ホースバンドB



エルボ

SDシリーズは使用しません
(接続口が奥まっているため取り付け不可)

③ 据え付け前の確認と準備(別売品)(つづき)



据え付け面

■ 据え付け面が弱い場合

- 床
(真下排水) :

「補強板A」(別売)
NSD-600 14,300円
600×650×71 (mm)

- 防水フロアー
(幅800 mm) :

「補強板C」(別売)
NSD-790 11,000円
790×630×21 (mm)

別売品 補強板が必要です。

- 床(真下排水以外) /
防水フロアー(幅640 mm) :

「補強板B」(別売)
NSD-630 11,000円
630×630×21 (mm)

- 防水フロアー
(幅900 mm) :

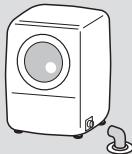
「補強板D」(別売)
NSD-890 11,000円
890×630×21 (mm)

サイズ:(幅×奥行×高さ)

4 排水部の接続

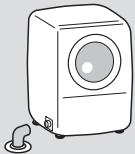
右排水

排水口が本体右



左排水

排水口が本体左



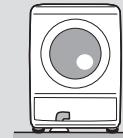
後ろ排水

排水口が本体後ろ

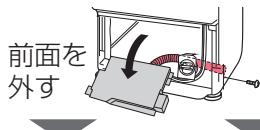


真下排水

排水口が本体真下

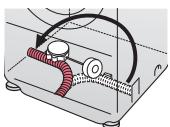


内部排水ホースを付け換える

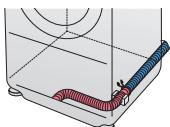


前面を
外す

左に付け換える
(P.17)



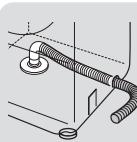
外部排水ホース
とつなぐ
(P.18)



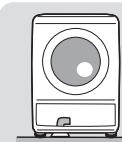
外部排水ホースを 排水口につなぐ (P.21)



排水ホースは横に引き回せますか？



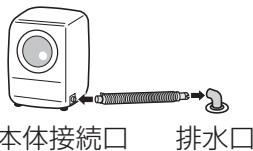
可能



不可能

本体を据え付ける

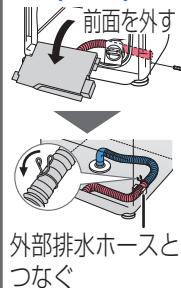
外部排水ホースをつなぐ (P.20)



外部排水ホースを本体につなぐ (P.22)



内部排水ホースを付け換える (P.19)



4 排水部の接続(つづき)

左
排水

内部排水ホースを付け換える

動画で説明



- 内部排水ホースの作業は、軍手などの保護具を必ず着用してください。
(内部の端面などだけがをするおそれ)

1 前面パネル・コントローラーユニットを外す

① 固定ネジを外す

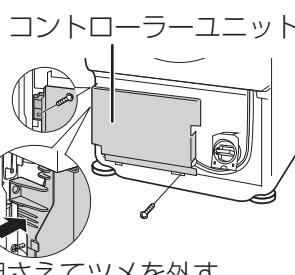
LXシリーズ 4か所

SDシリーズ 3か所



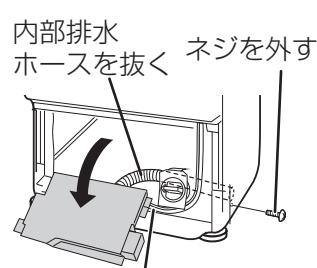
LXシリーズのみ
前面パネルを外す

② 固定ネジ(2か所)を外す



コントローラーユニット
押さえてツメを外す

③ 手前に倒す

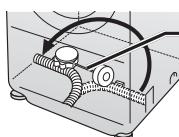


内部排水
ホースを抜く ネジを外す

リード線を無理に引っ張らない

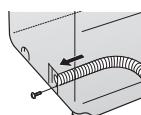
2 内部排水ホースを付け換える

① 左側に付け換える



- 排水モータのロッドに力を加えない。
(排水異常の原因)

② ネジで固定



③ 本体右側面に付属のホース穴カバーを付ける

3 コントローラーユニット・前面パネルを元に戻す (リード線はさみ込み注意)

4 排水部の接続(つづき)

後ろ
排水

内部排水ホースを付け換える

動画で説明



- 内部排水ホースの作業は、軍手などの保護具を必ず着用してください。
(内部の端面などだけがをするおそれ)

1 前面パネル・コントローラーユニットを外す

① 固定ネジを外す

LXシリーズ 4か所

SDシリーズ 3か所

前面パネルを外す

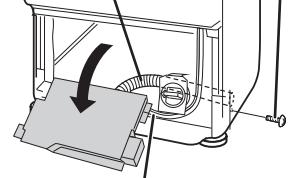
② 固定ネジ(2か所)を外す

コントローラーユニット

押させてツメを外す

③ 手前に倒す

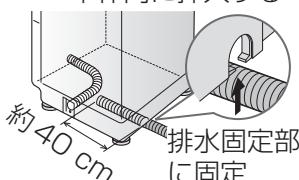
内部排水
ホースを抜く ネジを外す



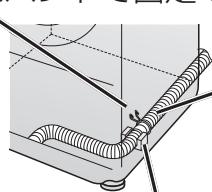
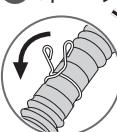
リード線を無理に引っ張らない

2 内部排水ホースを付け換え、外部排水ホースとつなぐ

準備 外部排水ホースを伸ばした状態で本体内に挿入する



① ホースバンドで固定(つまみは横に)



③ 外部排水ホースのジャバラを縮めて、たるみなく真っ直ぐにする

② 内部排水ホースを真下排水固定部に固定

3 コントローラーユニット・前面パネルを元に戻す (リード線はさみ込み注意)

4 排水部の接続(つづき)

真下
排水

排水ホース
横出し
不可能

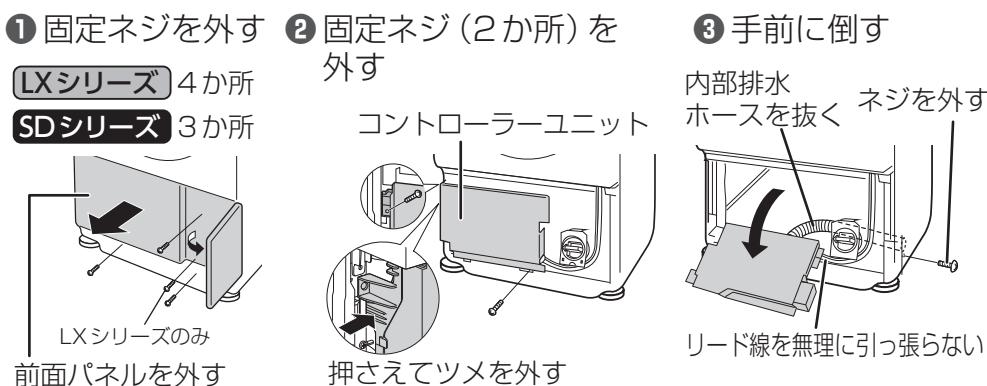
内部排水ホースを 付け換える

動画で説明



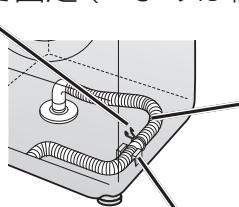
- 内部排水ホースの作業は、軍手などの保護具を必ず着用してください。(内部の端面などだけがをするおそれ)
- あらかじめ外部排水ホースを排水口につなぎ、本体を据え付けてから作業してください。(P.21)

1 前面パネル・コントローラユニットを外す



2 内部排水ホースを付け換え、外部排水ホースとつなぐ

① ホースバンドで固定(つまみは横に)



③ 外部排水ホースを
たるまないよう調整

② 内部排水ホースを真下排水固定部に固定

3 コントローラユニット・前面パネルを元に戻す (リード線はさみ込み注意)

4 排水部の接続(つづき)

右
排水

左
排水

後ろ
排水

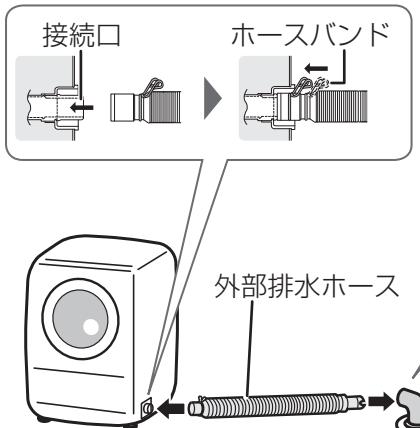
外部排水ホースを
つなぐ

動画で説明



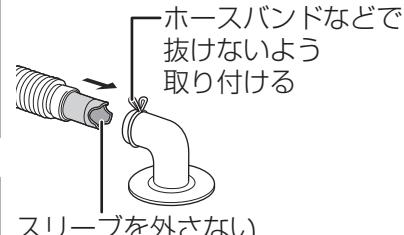
- 後ろ排水の場合は、手順2のみ行ってください。

1 本体の接続口につなぐ



2 排水口につなぐ

■ 排水パイプあり



■ 排水パイプなし

※横に引っ張っても
抜けないことを確認



ホースの引き回し

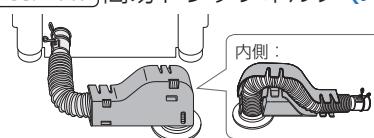
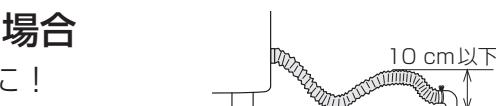
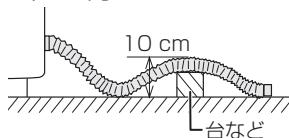
排水口に排水トラップがある場合

途中の立ち上がりは 10 cm 以下に！

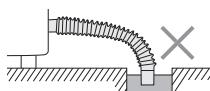
排水口に排水トラップがない場合

次のどちらかを行ってください。

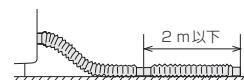
- ・途中で約 10 cm 立ち上げる
- ・別売品 簡易トラップホルダ (P.12) を使う



先端を水中に入れない！



延長用排水ホースは 2 m 以下に！



4 排水部の接続(つづき)

真下
排水

外部排水ホースをつなぐ①

動画で説明



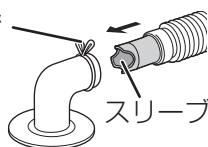
排水口につなぐ

■排水パイプあり

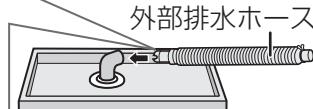
- 排水パイプと設置面の差が5 mm未満のとき

①排水パイプに接続する

ホースバンドなどで
抜けないよう
取り付ける



スリーブを外さない



- 排水パイプと設置面の差が5 mm以上45 mm未満のとき

上記の手順で外部排水ホースをつなぎ、別売品 フロアーアート板(P.13)を設置してください。

- 排水パイプと設置面の差が45 mm以上のとき

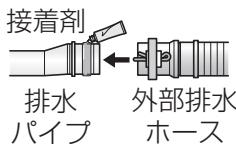
①排水パイプを取り外す



②「排水パイプなし」の手順①②を行う(下記)

■排水パイプなし

①別売品(真下)排水パイプ(P.14)に接続する



外部排水ホース

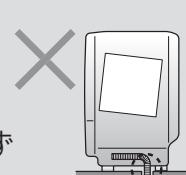
②(真下)排水パイプを排水口に取り付ける



- 排水パイプが底に当たる場合は先端を斜めにカットする。



- 外部排水ホースを直接排水口につながない。別売品 真下排水ユニット(P.14)を必ず使用する。



4 排水部の接続(つづき)

真下
排水

外部排水ホースをつなぐ②

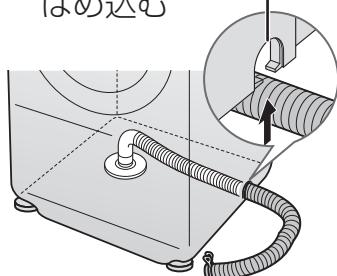
動画で説明



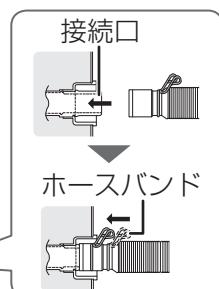
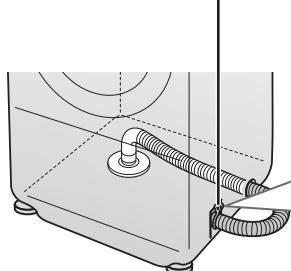
横に排水ホースを引き回せる場合のみ
本体接続口につなぐ

- 引き回せない場合は、内部排水ホースとつなぐ。(P.19)

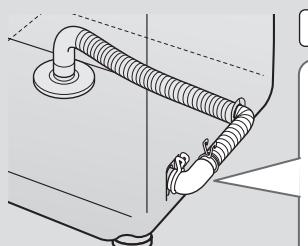
- ① 本体側面の排水固定部に
はめ込む



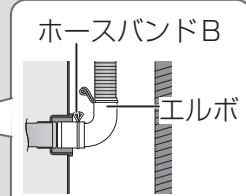
- ② 接続口につなぐ



■ LXシリーズ 横のスペースが9cm以下の場合



別売品 真下排水ユニットの



をお使いください。

5 給水部の接続

給水ホースを取り付ける

動画で説明



あらかじめ水栓の種類を確認し、必要に応じて

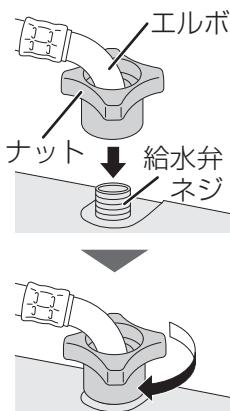
別売品 給水栓ジョイントなどを接続してください。(P.10)

お願い

- 給水ホースは、新品を取り付けてください。
(古いものを使用すると水漏れの原因)

1 給水ホースを本体の 給水弁ネジにつなぐ

- ① 給水ホースが
引き回し
しやすいように、
エルボの位置を
決める



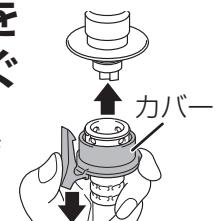
- ② ナットと
給水弁ネジを
水平に合わせる

- ③ しっかり
ナットを
締め付ける

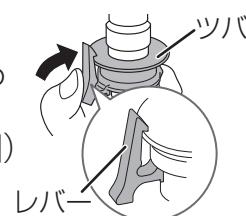
- ぐらつきや緩み・傾きがないか
確認してください。(水漏れ防止)

2 給水ホースを 水栓につなぐ

- ① カバーを
引き下げたまま
差し込む



- ② レバーを
ツバに掛ける
(外れると、
水漏れの原因)



- オートストッパー付き
の水栓に取り付ける
ときは、まっすぐ入れる。
(斜めに挿入すると、
ゴムパッキンを
傷つけるおそれ)

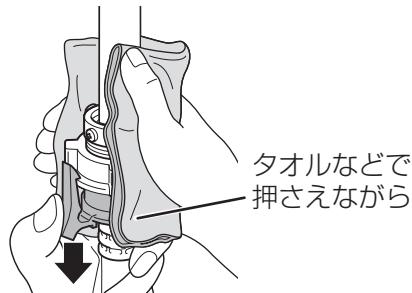
⚠ 注意		
エルボを回して 追い締めしない (水漏れの原因)	ナットを傾けて 締め付けない (水漏れの原因)	<p>傾き</p>
<p>傾き</p>		
給水ホースは無理に 折り曲げない (ホース折れのクセが付き、 水漏れの原因)		

5 給水ホースの接続(つづき)

給水ホースの外し方(止水弁の圧力の抜き方)

以下の手順でホース内の水を抜き、ホースを外す。(水の飛散防止)

- ① 水栓を閉じて、ドアを閉める
- ② 電源を入れて、スタートする
- ③ 約2分後、電源を切る
- ④ レバーを押し、カバーを引き下げたまま、ホースを外す

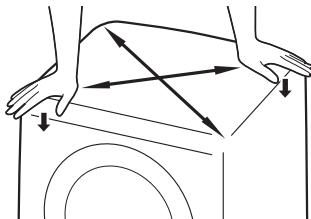


6 脚の高さ調整

動画で説明

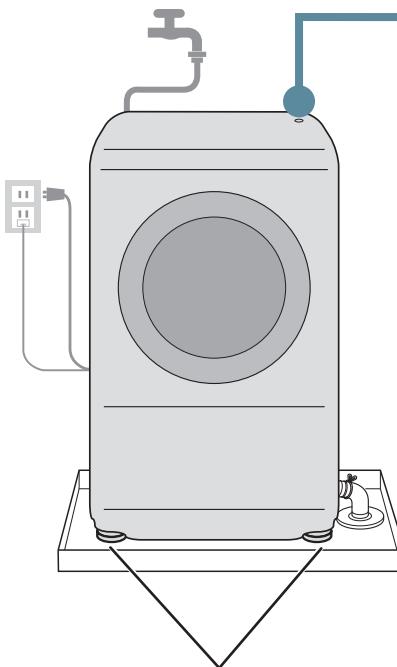


異常振動防止
のため必ず
実施



■ ガタつきの確認

天面対角角コーナーを交互に押して脚のガタつきがないか確認してください。ガタつく場合は脚の高さを調整し、水準器で水平を確認してください。



■ 水準器の確認

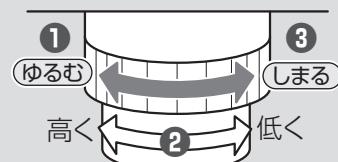
水準器の気泡の状態を確認しながら脚の高さを調整してください。

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 水平
(円内に気泡がある) | ▶ 調整不要 |
| 右が高い | ▶ 右を低くする
または
左を高くする |
| 左が高い | ▶ 左を低くする
または
右を高くする |
| 後ろが高い | ▶ 前を高くする
(2か所) |
| 前が高い | ▶ 前を低くする
(2か所) |

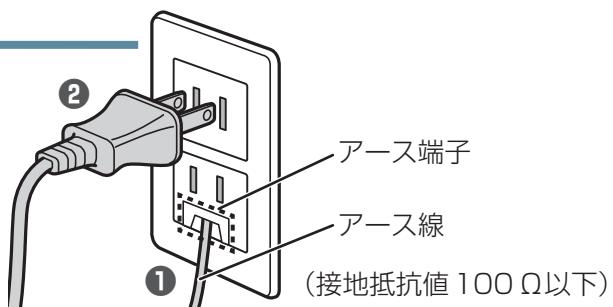
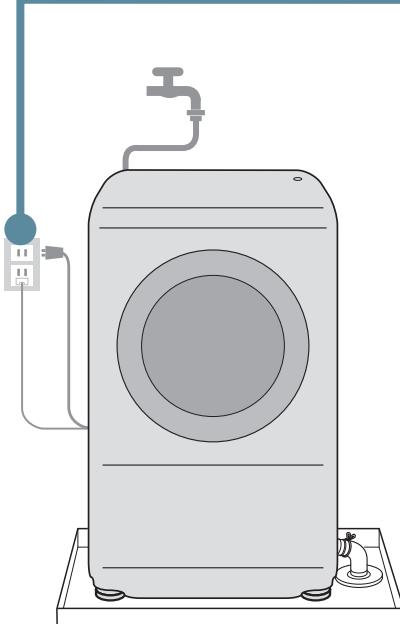
● 脚の調整方法

- ① (ゆるむ) に回して緩める
- ② 調整脚を回して傾きを調整する
- ③ (しまる) に回して固定する

※調整脚は前部2か所です



7 アース・電源の接続



警告



アースを取り付ける
(漏電時に感電のおそれ)

定格 15 A 以上・交流 100 V
のコンセントを単独で使う
(他の器具と併用すると、火災のおそれ)



棚や本体などで
電源コードを挟まない
(断線による
火災・感電のおそれ)



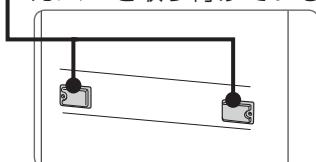
- コンセントにアース端子がない場合、アース工事を販売店または電気工事店に依頼する。
(工事費は、本体価格に含まれていません)
- 電気設備技術基準に基づき、電気工事が D 種接地工事をする。
使用する電源回路に漏電遮断器がない場合は、必ず取り付ける。(法令による規定)
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路および漏電遮断器を入れた他の製品の
アース回路には、接続しない。(法令等で禁止)
- 設置場所の変更や転居のときも、アースを取り付ける。

8 点検

据え付け後、以下の項目を点検して試運転を行ってください。
チェック後、お客様に据え付け完了の説明をしてください。

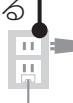
背面

- 輸送用固定ボルトを外し、カバーを取り付けている(2か所)



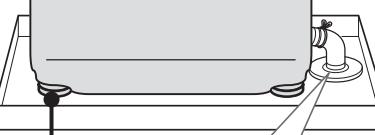
電源

- アースが接続されている
- 定格 15 A以上、交流 100 Vのコンセントを単独で使っている
- 電源コードが棚や本体などに挟まれていない



水準器・脚

- 水準器の円内に気泡がある(水平)
- 本体はしっかりした場所に、ガタつきなく据え付けられている
- 脚がゆがんだり、変形していない(4か所)



給水部

- 給水ホースを取り付ける前に、汚れを取り除いた(P.7)

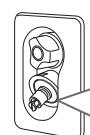
汚れ、カルキ成分、異物、サビ、傷(水漏れの原因)

ぬれた布で拭き取る
(汚れがとれない場合は交換する)

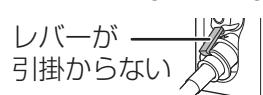


水栓のジョイント部

- 給水ホースや接続部などからの水漏れがない



引込み出張り



レバーが引掛からない

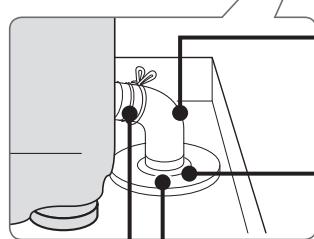
X オートストップなし



ツバなし

排水部

- 排水トラップがある場合、排水ホースの立ち上がりが10 cm以下
- 排水口に異物などがたまっていない
- 排水管や接続部などからの水漏れがない



9 試運転

水漏れ防止のため必ず実施

- ドラム内に何も入れないで、「水漏れや異常音・振動がないこと」「正常に排水すること」を確認してください。
- 店頭展示デモモードが設定されている場合がありますが、試運転することで解除されます。

輸送用固定ボルトが外れていることを必ず確認してください！(P.4)

LXシリーズ 試運転のしかた

タッチパネル

(LX129タイプ)

- ① 水栓を全開し、ドアを閉める
- ② 以下の操作を 2秒以内 に行う
両手で ① と ② を押し、
① のみ手を離し、(②) を押したまま
時刻表示中の画面を
タッチして離す
- ③ 試運転を始める を押す (約3分後に自動終了)

お知らせ

水道水圧が低い場合、自動的に乾燥経路の洗浄水量を増やす設定が行われ、運転終了後にお知らせします。

- タッチパネルの場合：画面に案内が表示
- タッチパネル以外の場合： -Lo が表示

SDシリーズ 試運転のしかた

- ① 水栓を全開し、ドアを閉める
- ② お手入れ + コース を押しながら ① を押す
- ③ 888 表示中、3秒以内に コース を押す
(約3分後に自動終了)

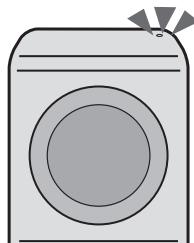
異常が出た場合は

次ページへ

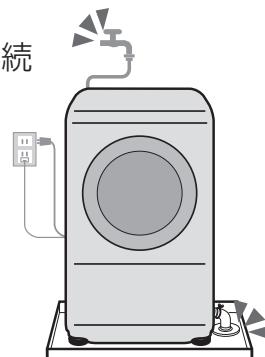
9 試運転(つづき)

異常が出た場合

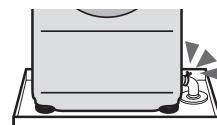
- 異常音・振動がある
→水平を確認 (P.25)



- 水漏れがある
→ホースを正しく接続 (P.16 ~ 23)



- **U11** (排水できない) が表示された
→排水ホースが途中で 10 cm より高く立ち上がってないかを確認
→排水ホースを正しく接続したかを確認
→排水口が詰まっていないかを確認



- **U14** (給水できない) が表示された
→給水ホースを接続し、水栓を開いたかを確認



原因・対処法 [Web](#)



異常音



振動



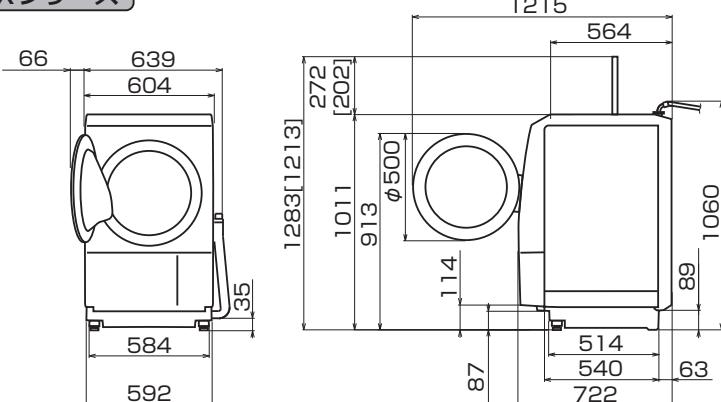
水漏れ

エラー状態解除後、スタート
一時停止 を押すと試運転を再開します。

製品寸法(単位: mm)

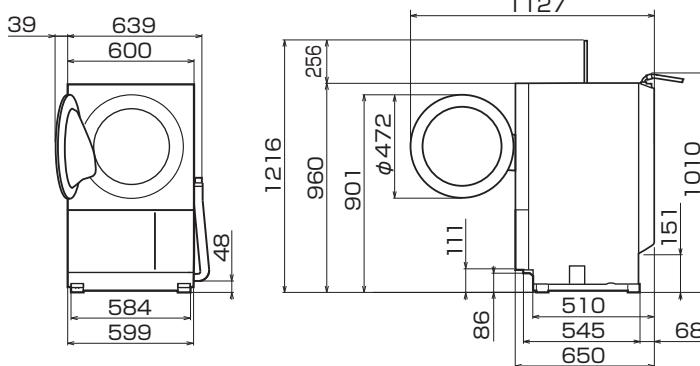
- ドア左開きの図を使用しています。
- ドアが開いたときのドアと壁までの距離にご注意ください。

LXシリーズ



※ []内寸法はNA-LX113DLです。

SDシリーズ



■よくあるご質問

パナソニックホームページ内から
様々な問題の原因と対処方法を確認できます。
(通信料金はお客様のご負担となります)



パナソニック株式会社 ランドリー・クリーナー事業部

〒525-8555 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-2号

© Panasonic Corporation 2024

A0724-11124

2024年11月発行 (Ver.1.1)